

江差町立南が丘小学校



かけはし



【本年度の重点教育目標】

『学習したことをもとに考え、自ら実行できる子どもの育成』

〔笑顔・信頼〕〔学び合い・高め合い〕〔習慣・継続〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

2学期をふり返って

南が丘小学校長 安田 善紀

12月8日に日曜参観日（南小フェスティバル）を行いました。たくさんの保護者や地域の皆様にご来校・ご参観いただき、誠にありがとうございました。特に本校児童の兄弟姉妹や他校の友人にも、たくさん参加してもらいました。「南小フェスティバル」は、各学級の子どもたちが手作りのゲームやイベントを参加者に楽しんでもらえるよう企画段階で話し合い、作業段階で協力して準備しました。当日はわかりやすく説明することを心がけ、参加者に楽しんでいただきました。子どもにとっては、お楽しみ行事という側面が大きいようですが、今年度は「参観してもらおう皆さんに、思いやりの心をもって接し、楽しんでもらえるように取り組もう」を目標に掲げ実施しました。2学期は様々な教育活動で、「他者のために自分の良い所を見せる・喜んでもらう」を目標に位置づけ、思いやりの心をもって取り組むことを重点としました。他者意識の醸成が豊かな心を育み、楽しく安全・安心な学校づくりの基盤となると考えます。

さて、今年も残すところあと僅かとなりました。2学期は、校外で学ぶ機会が多かったです。たくさんの施設を訪れたり、地域の皆様に来校いただき子どもたちと触れ合っていたりする機会を多く設定しました。更にじょうぶな身体づくりについて折に触れ、規則正しい生活習慣の確立と感染症予防に努めました。おかげさまをもちまして大きな感染症の流行もなく、無事に終わることができました。84日間の長い2学期、子どもたちがここまで、大きな事故等がなく元気に過ごすことができましたことは、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。

この2学期、子どもたちは友達とのかかわりの中でたくさんのことを学ぶことができました。ところが、冬休みになると、「友達と一緒に…」という学校生活から一変、今度は家庭で「自分で考えて…」と、自分で学習や生活を計画し実践することが求められます。ですから、冬休み期間中はぜひ、「自分で計画したことを実行すること」「家庭の中でできることを見つけて取り組んでみることをしてほしいと願います。更には、北国に生きる子どもたちです。冬の季節感を心と体で感じられるように外での遊びや、スキーなどのスポーツ、北国ならではの暮らしを、楽しんでほしいと思います。

本年も本校の教育活動にご協力ご支援をいただきありがとうございました。保護者・地域の皆様にお礼を申し上げます。そして、子どもたち、保護者・地域の皆様にとって良い年を迎えられますようご祈念いたします。

## 自分たちの手で作り楽しむ

～南小フェスティバル～

12月8日、南小フェスティバルを行いました。たくさんの保護者の方、地域の方にご参加いただき、大変盛り上がりました。コーナー作りをした子どもたちは、この日のために準備をし、どうしたらお客さんに楽しんでもらえるか、友達と一緒に考えてきました。わかりやすくルールを説明するために、どうしたらよいか、工夫してきました。相手意識をもち、話し方や説明の仕方を考えて練習しました。

当日、子どもたちは練習どおりに丁寧に接客をしていました。お客さんが楽しんでいる様子を見て、充実感を得られたことと思います。

自分たちの手で作り（先生方の助けも多少ありましたが…）、自分たちも楽しみました。この行事を通して、子どもたちは自分たちでできたという自信をもつことができたことでしょう。

お客さんとして、子どもたちの説明を聞いたり、コーナー体験をしたりして温かく見守ってくださった保護者・地域の皆様、ありがとうございました。



開会式でコーナー紹介をする子どもたち。



コーナーの受付でお客さんに遊び方を説明しています。

## 思いや考えを伝え合う

～毎月の全校朝会・作文発表～

本校には、毎月の全校朝会の中で、作文発表のコーナーがあります。「今年はプールで浮けるようになったので、来年はもっと泳げるようになりたいです」、「3学期は国語をがんばります」、「南フェスで、ストラックアウトが楽しかったです」など、全校の前で1人ずつ発表し、拍手をもらいます。聞いている子どもたちは、共感したり、友達のがんばりを認め合ったりしています。朝から温かい雰囲気になるのを感じる全校朝会でした。



12月の全校朝会で、作文を発表する子どもたち。

## 命の大切さに触れる～「人の誕生」の授業～

5年生は、町保健師の藤八さんをお招きし、人の誕生について学びました。赤ちゃんが生まれるときのお話を聞いたり、赤ちゃんと同じくらいの重さの人形を抱っこしたりして、命について考えました。子どもたちからは、「出産や、妊婦さんって大変なんだなって思った」「ずっと抱っこしてたら、重くて疲れた」「僕も大人になったら実際に抱っこするからきちんとしないとと思いました」などの感想があり、お話や体験を通して多くのことを感じ取ったようです。



赤ちゃんの人形でおむつがえを体験。